

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 大山 敏 会員数 約1,000人)

T E L 03-3958-0121

#### 1 前 文

出題内容は学習指導要領に掲げられた教科・科目のねらいおよび内容におおむねそくしており、基礎・基本を重視したものとなっている。平易な問いを中心に高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体をとおして質・量ともに共通テスト初年度となった昨年度と同程度である。大問4構成はセンター試験以来の伝統であり、本試験とも同様であり、安定した出題である。読ませる量が多いのが特徴だが、単に知識を問うのではなく、思考力判断力を問う以上、避けられないだろう。多様な意見を対話によって合意形成を図るという公民科学習の性格でもある。学習指導要領にのっとり、基礎的基本的な知識を確認する問や確かな基礎的基本的な知識に基づき資料等を読み込み「倫理」で学んだ思考力や判断力を駆使して考えて解く問を中心に構成されている。平易でありながら考えて解く工夫がなされている点は評価されるが、リード文と問いとの有機的な結びつきが薄く、各問だけ読んで解いても正答が得られる問いが多く残念だ。しかし、なるべく正しい選択肢や最も適当な選択肢を選ぶように問を設けているなど留意されている。「倫理」学習の成果としての知識がなくても、いわば国語力で解ける問が一定程度存在することについては、賛否両論がある。とはいえ、「倫理」学習で涵養された思考力判断力はどこまでが公民科学習の成果であり、どこまでが国語科学習の成果であるか、判断はつかない以上、国語力を問うているのではないかと批判されても読解力を問う必要はある。

以下、各設問について意見と評価を申し述べる。

第1問 源流思想について、基礎的基本的な知識と、確かな知識に基づき、資料読解等による思考力判断力を問う。

問1 愛を主題にギリシア思想と中国思想についての基礎的基本的な知識を問う。①墨子が説くのは兼愛であり、別愛は墨子が家族愛を重んじる儒教の教えを批判して呼んだことから誤文。③神のみが真に知を愛する者たりうとするのは誤り。④アイデアとエロースの関係が誤り。

問2 古典や聖典に関する基礎的基本的な知識を問う。①ギリシア神話についての正文。②イエスの教えとユダヤ教の律法との関係。③韓非子をはじめとする法家思想とは反対の説明がなされている。④イスラームの六信に聖遷は含まれないので誤り。これら4つをひとつの問いで示すことで高校生にどのようなメッセージを送ろうというのか。

問3 アウグスティヌスの思想について基礎的基本的な知識と資料読解力を確認する。

問4 原始仏教について基礎的基本的な知識と資料読解力を確認する。

問5 知をキーワードにして源流思想についての基礎的基本的な知識を確認する。①無明とは苦悩の源でありブッダが真理を捉える知を無明と呼ぶはずがない。

問6 人間関係をキーワードにして源流思想についての基礎的基本的な知識を確認する。①喜捨は五行のひとつなので誤文。②愛別離苦は正しい。

問7 アリストテレスの友愛について『ニコマコス倫理学』の一節を読み、内容の理解を問う読解力の問い。アリストテレスが友愛をどのように考えていたかを知っていれば資料を読まなくても正答は容易。

問8 『孟子』の一節を読み、会話文と照らし合わせて考える問。孟子の思想を知っていれば資料を読まなくても正答は容易。

第2問 日本思想について、基礎的基本的な知識と、確かな知識に基づき、資料読解等による思考力判断力を問う。

問1 賀茂真淵の思想についての基礎的基本的な知識を問う。古学派の影響を受け『万葉集』研究から導かれる「ますらおぶり」をよしとする思想であるところから正答④に至る。

問2 神道と仏教の関係について基礎的基本的な知識を問う。イは仏と神の位置付けが逆になっているので誤文とわかる。ウは大日本帝国における国家神道の位置付けをみれば誤文とわかる。平易。

問3 山崎闇斎の思想についての基礎的基本的な知識に基づき、資料から読み取れることを確認する読解力の問。朱子学者であり神道家であること、敬と義を原理とする倫理を説いたこと、厳格な修養主義をとること、垂加神道をとらえたこと等の基礎的基本的な知識からも正答①に至る。

問4 空海が三密により大日如来と一体化して即身成仏できると説いたという基礎的基本的な知識で正答③に至る。平易。

問5 近代日本思想について、アは武士道とキリスト教の関連から内村鑑三、イは国家主義とキリスト教批判から井上哲次郎とわかる。井上を扱う教科書は多くはないので、井上哲次郎か西村茂樹か迷う高校生はいるだろうが、イの説明が西村ではないことから消去法でも正答に至る。

問6 高野長英についての基礎的基本的な知識を問う。①は『大和本草』から貝原益軒、②は条理学から三浦梅園、③は尚齒会から高野長英、④はアヘン戦争を契機に和魂洋才へという表現から佐久間象山とわかる。平易。

問7 叡尊についての基礎的基本的な知識を確認する。戒律を重んじる真言律宗を復興したことを知っていれば正答④を選べる。

問8 資料の読解力を問う。しかし、実際は福沢諭吉の思想を理解していれば、選択肢だけを見ても正答は④とわかる。せつかく資料として『学問のすゝめ』の一節を示すのであれば基礎的基本的な知識と読解力をあわせて発揮してこそ正答に至ることのできる問をつくるべきではないか。

第3問 西洋哲学についての問題。

問1 機械論的自然観に関して、ガリレイ、ニュートン、デカルトおよびコペルニクスについての基礎的基本的な知識を問う。

問2 モンテーニュ『エッセー』の一節を読み、モラリストの考える人間と自然の関係を考える問。読解力が問われる。

問3 社会契約説に立つ思想家の国家や社会についての見方や考え方を選ぶ基礎的基本的な知識の問。アは自然状態での闘争や死への恐怖から自然権を譲渡するというくだりからホッブズとわかる。イは自然状態が自由で平等であることや一般意志に基づく国家意志というところからルソーとわかる。

- 問4 ニーチェとベルグソンについての基礎的基本的な知識を問う。人間と生命をめぐる思想という括り。
- 問5 シェーラー「宇宙における人間の地位」の一節を読み、内容と合致する選択肢を選ぶ読解力の間。
- 問6 カントにおける理性の捉え方をレポートと称する文章にあてはめて選ぶ思考力判断力の間。
- 問7 実存主義に関して、キルケゴールとハイデガーの思想についての基礎的基本的な知識を問う。
- 問8 第3問全体のまとめとしての問。読解力を問う。
- 第4問 現代倫理や青年期についての問。
- 問1 フェミニズムの考え方とボーヴォワールの思想について基礎的基本的な知識を問う。
- 問2 オルポート『偏見の心理』の一節を読み、内容を正しく把握している文章を選ぶ。読解力を問う。
- 問3 資料文と図に基づき分析する会話文を読み、資料文に示された実験と図に示された実験の結果から読み取れることを選ぶ。思考力判断力を問う。
- 問4 自由に関しアーレントとロールズの思想について基礎的基本的な知識を問う。③ロールズなら自由が保証されていても格差が生じれば修正するはずで、ロールズとは正反対の立場の主張である。④はフロムの『自由からの逃走』を思わせる。
- 問5 異文化異民族との関わり方について基礎的基本的な知識を問う。半ば常識を問う。
- 問6 アリエスとルソーの思想についての基礎的基本的な知識を問う。「小さな大人」と「第二の誕生」というキーワードでわかる。平易。
- 問7 生命倫理。iPSとクローン技術についての基礎的基本的な知識を問う。
- 問8 ヌスバウム『女性と人間開発』の一節から内容を読み取り力を問う。
- 問9 ふたつの会話文の読解に基づき適切な表現を選ぶ思考力判断力の間。